

ぼやあ樹だより

今月も、空き情報やキャンペーンなどを掲載した広報誌「ぼやあ樹だより」をお届けいたします。
また、弊社ホームページでは各事業所のニュースなども掲載しておりますので、
ぜひご一読いただけますと幸いです。

空き 情報

小規模多機能型居宅介護ぼやあ樹 空き情報（2026年8月1日現在）

ぼやあ樹の6事業所（新子安・神大寺・平川町・松本町・江ヶ崎町・関内）の空き情報をお知らせ致します。
ご利用をご検討の際に、参考にしていただければと思います。

地域	事業所名	泊まり	通い	訪問
神奈川区	ぼやあ樹 新子安	◎	◎	◎
	ぼやあ樹 神大寺	◎	△	◎
	ぼやあ樹 平川町	◎	◎	◎
	ぼやあ樹 松本町	△	◎	◎
鶴見区	ぼやあ樹 江ヶ崎町	◎	△	◎
中区	ぼやあ樹 関内	△	◎	◎

◎ 空きあり
△ 曜日等 要相談
× 満員(空き待ち)



LINE
公式アカウント

友だち登録募集中！

LINE アプリの
QR コードで
友達追加



ぼやあ樹 W キャンペーン開催中

要介護4・5および週4日以上泊まり
の方を限定とした

お泊り料金割引キャンペーン

を実施します！！



同封のちらしをぜひご覧ください。

2026年4月～9月にご利用開始となった方に限り、
宿泊費を特別割引価格でご案内いたします。

《ご利用条件》 ※①②いずれも該当

- ①要介護4または5の方
- ②週4日以上泊まり利用の方



生活保護受給者の方限定とした

生活保護料金割引キャンペーン

を実施します！！

同封のちらしをぜひご覧ください。

2026年7月～9月にご利用開始となった方に限り、
自費分（食費・宿泊費）を割引金額でご案内
いたします。



Movie&Instagram



◀ ぼやあ樹ムービー
QRコードからぜひご覧ください！
ぼやあ樹 Instagram ▶



介護サービスに困っている方や当キャンペーンにつきまして、
ご不明な点等がございましたら、
遠慮なく相談窓口までお問い合わせください。

相談窓口

☎: 045-620-5540

「希望をカタチに」 — Vol.6 —

代表取締役 石川 洋一



本コラムでは、「希望をカタチに」という理念が、
どのような出会いや想いから生まれてきたのかをお伝えしていきます。

『ひとりで生きるということ』

現場で出会う人生は、決して順風満帆なものばかりではありません。
むしろ、思いもよらない出来事の中で、人は生き方を問われていきます。
今回出会ったのは、ある一人の女性のケースでした。

もともとご夫婦で生活されていましたが、関係性は決して安定したものではありませんでした。
女性は感情の波が大きく、相手を強く求める一方で、時には拒むような態度を取ることもありました。
そして、その関係から離れられないご主人もまた、依存し合う関係の中にいました。
収入の多くは衝動的な支出に消え、生活は次第に不安定になっていきました。
「このままではいけない」
そう感じながらも、抜け出すことができない状態が続いていました。

そんな中、ある日突然、ご主人が姿を消しました。
残されたのは、「ひとり」という現実でした。
最初は、感情の揺れが激しく、日々を保つことも簡単ではありませんでした。
怒り、不安、孤独。
さまざまな感情が交錯し、支援者との関わりも決してスムーズとは言えませんでした。

それでも、関わりは続きました。
介護、医療、福祉。
さまざまな立場の人が関わりながら、日常の中で少しずつ対話を重ねていきました。
その中で、ふとした変化が見え始めます。
「ひとりでも、生きていかないといけないよね」
誰かに言われたわけではなく、ご本人の中から出てきた言葉でした。

そこから、少しずつ生活が変わっていきます。
お金の使い方を見直すこと。
日々のリズムを整えること。
感情を言葉にすること。
特別なことではありません。
けれど、その一つひとつが、「自分で生きる」ことにつながっていきました。
やがて、こう話されるようになりました。
「今の生活、悪くないかも」
誰かに依存する生活ではなく、ひとりでも成り立つ、自分なりの生活。
そこには、かつてとは違う穏やかさがありました。

私たちは、このケースを通して改めて感じました。
人は、環境や関係性が変わることで、もう一度、自分の生き方を選び直すことができるということ。
そして——
**「自分らしく生きる」ということは、誰かと一緒にいることだけではなく、
ひとりであっても成り立つものだということ。**
ばやあ樹はこれからも、その人がその人らしく生きられる形を、共に探し続けていきます。



次回もまた、新たな「希望をカタチに」の物語をお届けいたします。